

## 問 1

ファイナンシャル・プランニング業務を行うに当たっては、関連業法等を順守することが重要である。ファイナンシャル・プランナー（以下「F P」という）の行為に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。なお、記載のない資格の登録等については考慮しないこととする。

1. 投資助言・代理業の登録を受けていないF Pが、公表されている有価証券報告書などに基づき、相談者に対して、有償で具体的な投資時期等の判断や助言を行った。
2. 税理士の登録を受けていないF Pが、住宅展示場におけるF P相談会で、住宅購入に当たり、住宅借入金等特別控除（住宅ローン控除）の適用を受けた場合の具体的な税額計算を行った。
3. 生命保険募集人・保険仲立人の登録を受けていないF Pが、変額年金保険の一般的な商品内容について説明を行った。

問2

下記は、東条家のキャッシュフロー表（一部抜粋）である。このキャッシュフロー表の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる数値として、正しいものはどれか。なお、計算に当たっては、キャッシュフロー表中に記載の整数を使用すること。また、計算過程においては端数処理をせず計算し、計算結果については万円未満を四捨五入することとする。

<東条家のキャッシュフロー表>

(単位：万円)

経過年数			基準年	1年後	2年後	3年後	4年後
家族・年齢	東条 義雄	本人	31歳	32歳	33歳	34歳	35歳
	八重	妻	30歳	31歳	32歳	33歳	34歳
	泰彦	長男	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳
ライフイベント		変動率			自動車 購入		泰彦 小学校入学
収入	給与収入（本人）	1%	430				
	給与収入（妻）	1%	360				
	収入合計	—	790				
支出	基本生活費	2%	280				(ア)
	住宅関連費	—	180	180	180	180	180
	教育費	—	12	15	15	15	24
	保険料	—	24	24	24	24	24
	一時的支出	—			300		20
	その他支出	—	48				
	支出合計	—	544		858		
年間収支				245	(イ)		
金融資産残高		1%	680	(ウ)			

※年齢および金融資産残高は各年12月31日現在のものとする。

※給与収入は可処分所得で記載している。

※記載されている数値は正しいものとする。また、問題作成の都合上、一部を空欄にしてある。

1. (ア) 291
2. (イ) ▲52
3. (ウ) 925

問3

山本家の現時点の資産および負債が下記<資料>のとおりである場合、<資料>に基づく山本家のバランスシートの空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、記載のない事項については一切考慮しないこととする。

<山本家のバランスシート>

(単位：万円)

[資産]	× × ×	[負債]	× × ×
		負債合計	× × ×
		[純資産]	( ア )
資産合計	× × ×	負債・純資産合計	× × ×

<資料>

[保有財産（時価）] (単位：万円)

金融資産	
普通預金	3 0 0
定期預金	1, 5 0 0
投資信託	2 0 0
生命保険（解約返戻金相当額）	1 0 0
自動車	1 5 0
不動産（自宅マンション）	4, 0 0 0

[負債残高]

住宅ローン（自宅マンション）：3, 2 0 0 万円

1. 2, 9 0 0 (万円)
2. 2, 9 5 0 (万円)
3. 3, 0 5 0 (万円)

#### 問4

木村さんは、今後10年間で積立貯蓄をして、子どもの大学進学資金として200万円を準備したいと考えている。積立期間中に年利2.0%で複利運用できるものとした場合、200万円を準備するために必要な毎年の積立金額として、正しいものはどれか。なお、下記＜資料＞の3つの係数の中から最も適切な係数を選択して計算し、解答に当たっては、千円未満を切り上げること。また、記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜資料：係数早見表（年利2.0%）＞

	現価係数	資本回収係数	減債基金係数
10年	0.8203	0.11133	0.09133

※記載されている数値は正しいものとする。

1. 165,000円
2. 183,000円
3. 223,000円

#### 問5

浦田豊和さん（61歳）は、老齢基礎年金の繰上げ受給および繰下げ受給について、FPの堀尾さんに質問をした。豊和さんの老齢基礎年金の繰上げ受給および繰下げ受給に関する次の記述の空欄（ア）、（イ）にあてはまる数値の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。なお、記載のない事項については一切考慮しないこととする。

老齢基礎年金の繰上げ受給をした場合の減額率および老齢基礎年金の繰下げ受給をした場合の増額率は、以下の算式により計算する。

$$\text{減額率} = (\text{ア}) \% \times \text{繰上げ請求月から65歳に達する日の前月までの月数}$$

$$\text{増額率} = (\text{イ}) \% \times 65\text{歳に達した月から繰下げ申出月の前月までの月数}$$

1. (ア) 0.4 (イ) 0.7
2. (ア) 0.5 (イ) 0.5
3. (ア) 0.7 (イ) 0.4

## 問6

下記<資料>に基づくWA株式会社の投資指標に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。なお、記載のない事項については一切考慮しないこととし、計算結果については表示単位の小数点以下第3位を四捨五入すること。

<資料：WA株式会社に関するデータ>

株価	1,500円
1株当たり当期純利益	200円
1株当たり純資産（自己資本）	1,800円
1株当たり年間配当金	25円

1. 株価収益率（P E R）は60倍である。
2. 株価純資産倍率（P B R）は0.83倍である。
3. 配当性向は12.50%である。

## 問7

投資信託の費用に関する下表の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる語句として、最も適切なものはどれか。

投資信託の費用	主な内容
購入時手数料	投資信託の購入時に販売会社へ支払う費用である。購入時手数料が徴収されない（ア）と呼ばれる投資信託もある。
運用管理費用	運用のための費用や情報開示のための資料作成・発送、資産の保管・管理などの費用として徴収される。信託財産の残高から（イ）、差し引かれる。
信託財産留保額	投資家間の公平性を保つために、一般的に、（ウ）の際に徴収される。投資信託によっては差し引かれないものもある。

1. (ア) オープン型
2. (イ) 毎日
3. (ウ) 償還

### 問8

ドルコスト平均法により、1回当たり3万円の投資金額でYK株式会社の株式を下記＜資料＞に記載の株価で買い付けた場合の平均取得単価（株価）として、正しいものはどれか。なお、税金や手数料等については考慮しないこととする。

＜資料＞

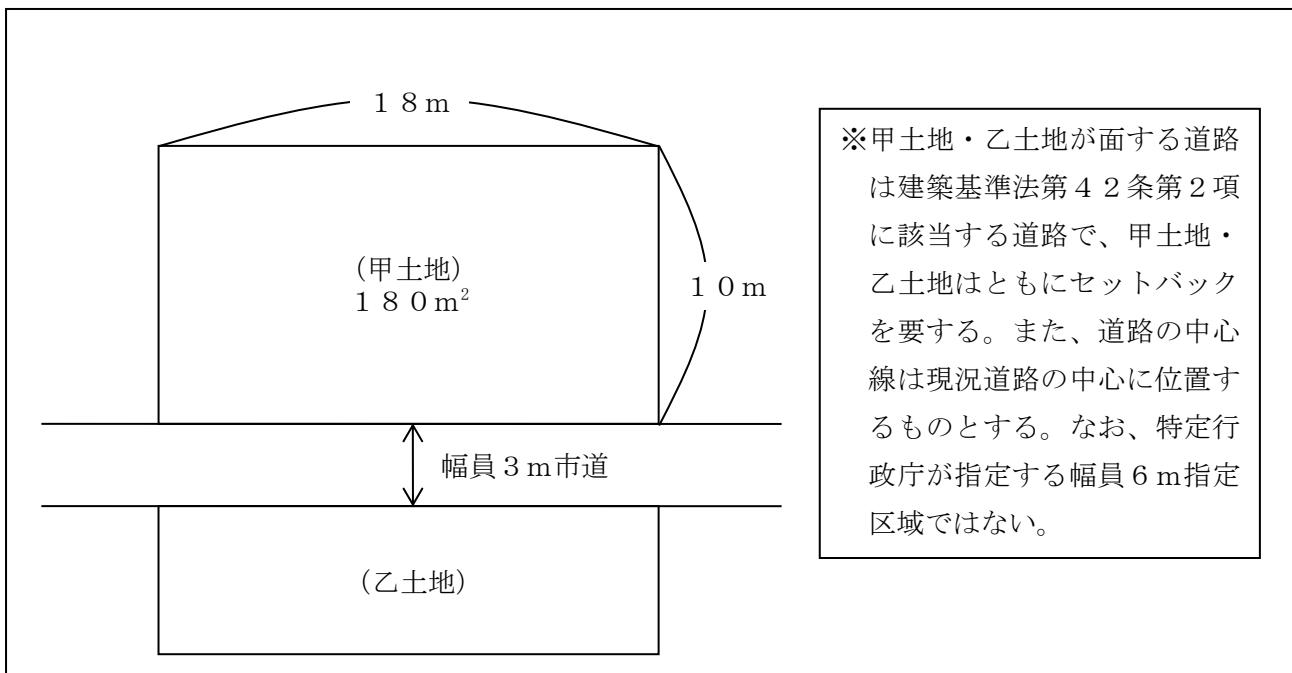
	株価（1株当たり）
第1回	1,200円
第2回	2,000円
第3回	2,000円
第4回	1,500円

1. 1,500円
2. 1,600円
3. 1,675円

### 問9

下記<資料>の甲土地の建築面積の最高限度を算出する基礎となる敷地面積として、正しいものはどれか。なお、記載のない事項については一切考慮しないこととする。

<資料>



1.  $144 \text{ m}^2$
2.  $162 \text{ m}^2$
3.  $171 \text{ m}^2$

### 問10

土地の登記記録に関する下表の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる記録事項の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。

<土地登記記録の構成>

土地登記記録	表題部	(ア)	
	権利部	甲区	(イ)
		乙区	(ウ)

1. (ア) 所有権保存登記 (イ) 賃借権設定登記 (ウ) 抵当権設定登記
2. (ア) 土地の所在や地積 (イ) 賃借権設定登記 (ウ) 抵当権設定登記
3. (ア) 土地の所在や地積 (イ) 所有権移転登記 (ウ) 賃借権設定登記

## 問11

鍋島さんは、所有しているマンションを賃貸している。賃貸マンションに係る当年分の収入および支出等が下記＜資料＞のとおりである場合、当年分の所得税に係る不動産所得の金額として、正しいものはどれか。なお、記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜資料＞

- ・ 賃料収入（総収入金額）：180万円
- ・ 支出等  
　銀行からの借入金に係る利息：40万円  
　管理費等：46万円  
　減価償却費：35万円

※支出等のうち必要経費となるものは、すべて当年分の不動産所得に係る必要経費に該当するものとする。

1. 59万円
2. 94万円
3. 99万円

## 問12

大下秀雄さんが加入している生命保険（下記＜資料＞参照）の保障内容に関する次の記述の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、保険金および給付金の支払事由が生じたときににおいて、保険契約は有効に継続しているものとする。また、秀雄さんはこれまでに＜資料＞の保険から保険金および給付金を一度も受け取っていないものとする。

＜資料＞

保険種類 医療保険（無配当）		保険証券番号△△△-□□□□
保険契約者	大下 秀雄 様	◆契約日（保険期間の始期） 20××年×月×日
被保険者	大下 秀雄 様 契約年齢 32歳 男性	◆主契約の保険期間 終身
受取人	〔給付金受取人〕被保険者 様 〔死亡保険金受取人〕大下 寧々 様（妻）	◆主契約の保険料払込期間 終身

### ■ご契約内容

給付金・保険金の内容	給付金額・保険金額	保険期間
入院給付金	日額 5,000円 ＊病気やケガで2日以上の入院をした場合、入院開始日を含めて1日目から支払います。 ＊同一事由の1回の入院給付金支払い限度は60日、通算して1,000日となります。	
手術給付金	給付金額 入院給付金日額×10・20・40倍 ＊所定の手術を受けた場合、手術の種類に応じて、手術給付金（入院給付金日額の10倍・20倍・40倍）を支払います。	終身
死亡・高度障害保険金	保険金 1,000,000円 ＊死亡または所定の高度障害状態となった場合に支払います。	

### ■ご契約内容

払込保険料合計	×,×××円／月
払込方法（回数）	：年12回
払込期日	：毎月

### ■その他付加されている特約・特則等

保険料口座振替特約
*以下余白

秀雄さんが、現時点でき交通事故により大ケガを負い、給付倍率20倍の手術（1回）を受け、継続して65日間入院した場合に支払われる保険金および給付金は、合計（ア）である。

1. 300,000円
2. 400,000円
3. 425,000円

### 問13

大久保利也さんの生命保険の年間支払保険料が下記＜資料＞のとおりである場合、利也さんの当年分の所得税の計算における生命保険料控除の金額として、正しいものはどれか。なお、下記＜資料＞の保険について、これまでに契約内容の変更はないものとする。また、当年分の生命保険料控除額が最も多くなるように計算すること。

＜資料＞

[定期保険（無配当、一般生命保険料）]

契約日：2018年9月1日

保険契約者：大久保 利也

被保険者：大久保 利也

死亡保険金受取人：大久保 順子（妻）

年間支払保険料：62,880円

[がん保険（無配当、介護医療保険料）]

契約日：2016年6月1日

保険契約者：大久保 利也

被保険者：大久保 利也

死亡保険金受取人：大久保 順子（妻）

年間支払保険料：28,800円

＜所得税の生命保険料控除額の速算表＞

[2012年1月1日以降に締結した保険契約（新契約）等に係る控除額]

年間の支払保険料の合計	控除額
20,000円 以下	支払保険料の全額
20,000円 超	40,000円 以下 支払保険料×1／2+10,000円
40,000円 超	80,000円 以下 支払保険料×1／4+20,000円
80,000円 超	40,000円

(注) 支払保険料とは、その年に支払った金額から、その年に受けた剩余金や割戻金を差し引いた残りの金額をいう。

1. 35,720円
2. 40,000円
3. 60,120円

### 問14

斎藤さんが自身を被保険者として契約している個人賠償責任保険に関する次の記述のうち、斎藤さんが国内で法律上の損害賠償責任を負った場合に保険金の支払い対象とならないものはどれか。

1. 勤務先の営業車を運転中に、民家の塀を誤って壊してしまった。
2. 土産店で陳列している商品を誤って壊してしまった。
3. サイクリング中に、自転車の運転を誤り歩行者にケガをさせてしまった。

### 問 15

会社員の中岡さんの当年分の所得等が下記＜資料＞のとおりである場合、中岡さんが当年分の所得税の確定申告をする際に、給与所得と損益通算できる損失の金額として、正しいものはどれか。なお、▲が付された所得の金額は、その所得に損失が発生していることを意味するものとする。

＜資料＞

所得または損失の種類	所得金額	備考
給与所得	700万円	勤務先からの給与であり、年末調整は済んでいる。
雑所得	▲30万円	仮想通貨の売却損である。
不動産所得	▲100万円	収入金額：100万円 必要経費：200万円 ※必要経費の中には、土地の取得に要した借入金の利子が20万円含まれている。

1. ▲80万円
2. ▲100万円
3. ▲130万円

### 問 16

会社員の近藤敏彦さんの生計を一にしている家族に関するデータは下記＜資料＞のとおりである。敏彦さんの当年分の所得税における扶養控除額として、正しいものはどれか。なお、＜資料＞に記載のあるデータ以外の扶養控除の要件はすべて満たしているものとする。

＜資料＞

氏名	続柄	年齢 (※)	収入等
近藤 敏彦	本人	47歳	給与収入700万円
陽子	妻	48歳	パート収入80万円
早紀	長女	20歳	なし
賢一	長男	15歳	なし

(※) 当年12月31日時点の年齢である。

1. 38万円
2. 63万円
3. 76万円

### 問 17

高橋さんは、当年3月に下記＜資料＞の一時払養老保険の満期保険金を受け取った。高橋さんが当年分の所得税において総所得金額に算入すべき一時所得の金額として、正しいものはどれか。なお、記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜資料＞

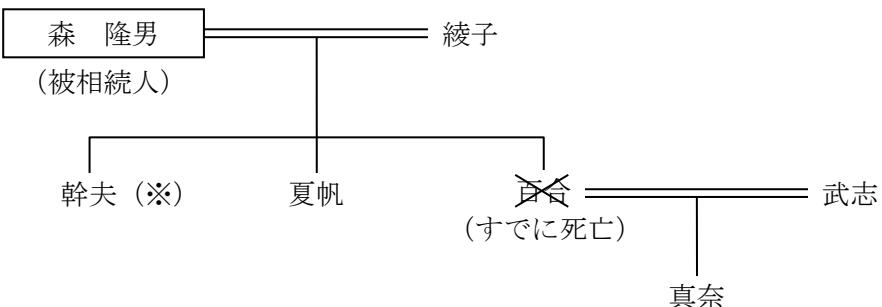
保険種類	一時払養老保険
保険期間	10年
保険契約者・保険料負担者	高橋さん
保険料払込方法	一時払い
満期保険金額	650万円
支払保険料の総額	500万円

1. 50万円
2. 75万円
3. 100万円

### 問 18

森隆男さん（被相続人）の＜親族関係図＞が下記のとおりである場合、民法上の相続人および法定相続分の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。なお、記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜親族関係図＞



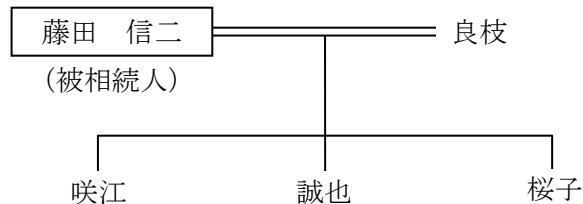
※幹夫さんは期限内に家庭裁判所で手続きを行い、適法に相続を放棄した。

1. 綾子 1/2 夏帆 1/2
2. 綾子 1/2 夏帆 1/4 真奈 1/4
3. 綾子 1/2 夏帆 1/6 幹夫 1/6 真奈 1/6

### 問19

藤田信二さん（被相続人）の＜親族関係図＞および信二さんの死亡に伴う＜遺族が受け取った生命保険の死亡保険金＞が下記のとおりである場合、この死亡保険金のうち信二さんの相続に係る各相続人の相続税の課税価格に算入される金額の合計額（生命保険金等の非課税金額控除後の金額）として、正しいものはどれか。なお、記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜親族関係図＞



＜遺族が受け取った生命保険の死亡保険金＞

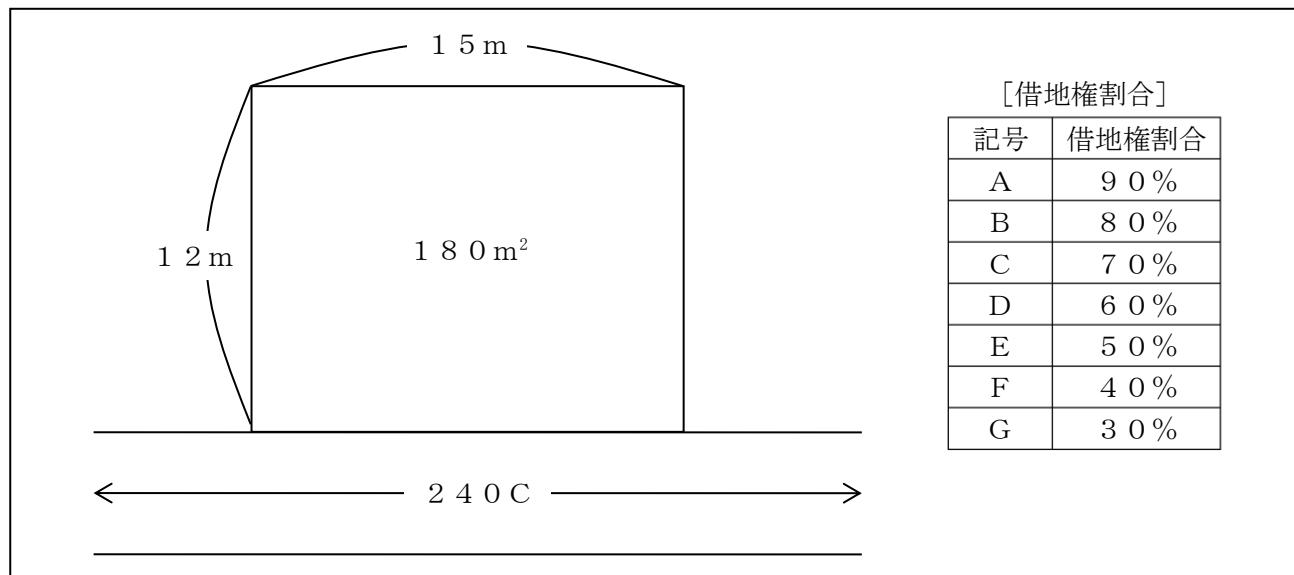
保険契約者 (保険料負担者)	被保険者	死亡保険金受取人	金額
信二さん	信二さん	良枝さん	3,000万円

1. 600万円
2. 1,000万円
3. 2,000万円

## 問20

下記<資料>の宅地の借地権（普通借地権）について、路線価方式による相続税評価額として、正しいものはどれか。なお、奥行価格補正率は1.0とし、記載のない事項については一切考慮しないこととする。

<資料>



1. 12,960千円
2. 30,240千円
3. 43,200千円